

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 1 日

事業所名 ココリス

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点や課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	0	適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	0	適切な人員配置を行っていますが、送迎などで人員が少なくなることもあるため、より工夫していく必要性もあります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	0	バリアフリー化は行われているが、手すり等必要な場所もあるため、設置の検討を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	0	定期的な会議において実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	アンケートを行い、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	0	ココリスの単独のホームページが出来上がり、そのホームページに自己評価の結果を公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	0	第三者委員による外部評価を実施して、業務改善に繋げています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	適時、研修に参加しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	アセスメントを行った上で、相談支援機関と連携し、お子さま一人ひとりに合った計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	一人ひとりのお子さまの発達状況に応じた対応を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	会議などを通して、活動プログラムの検討や活動への共通認識を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	0	入浴サービスもあるため、固定化されている面もあるが、なるべくプログラムが固定化しないよう工夫して取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	0	平日と休日・長期休暇においてはプログラムを変更し、活動を提供しています。特に、長期休暇においては、外出活動など平日では取り組むことができない活動も取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0	個別活動を集団活動を組み合わせながら、お子さま一人ひとりに合った計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	6	0	職員の出勤する時間が違うため、集まっての打ち合わせはできていないが、それぞれの役割分担を行いながら業務に取り組んでいます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	0	送迎などで、集まっての打ち合わせができていないがその都度、気付いたことなどについては、職員同士共有できるよう連携を取っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	日々、ケース記録を記入し、不定期ではあるが会議において、ケースを取り上げ、支援の検証・改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	4	0	定期的にモニタリングを実施しています。今後も継続して行っていく予定です。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	6	0	ガイドラインの内容については、再度認知を周知し、支援に繋げていきます。基本活動は、複数の活動を組み合わせさせて支援を行っています。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	学校や保護者と連携を取り、情報共有を行いながら適切に進めております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	3	5	医療的ケアが必要なお子さまは受け入れておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	6	0	できるだけ情報共有を行い、より相互理解ができるよう努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	0	学校を卒業したお子様はまだいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	0	専門機関と連携を行い、日々の業務に繋げております。また、研修には積極的に参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	3	活動の機会は、作れておりません。今後、活動の機会の検討をしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5	1	研修などのプログラムに参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	7	0	1	連絡帳や送迎の際に、日頃の状況をお伝えできるよう心掛けております。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	3	保護者からの相談があった際は、その都度支援を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	契約時に、説明を行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0	相談に対してその都度、支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	5	父母の会や保護者会は、現在実施しておりません。必要に応じて、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	苦情窓口を設置し、契約時に説明をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	0	保護者に対して、2ヶ月に1度、ココリスでの活動がわかるように、写真などを入れた広報紙を作成しています。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0	個人情報の保護は、十分に注意を払って業務に取り組んでいます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	お子さまを理解し、配慮を行いながら業務に取り組んでいます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	6	地域の方を招待する行事は行っていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルは現在作成中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	4	0	年2回の消防避難訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0	人権・虐待防止の研修を行い、職員に周知するよう取り組んでいます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	6	0	保護者に対して、契約時に重要事項説明書において、身体拘束についての説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	0	保護者の方からの聞き取りを行い、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	5	ヒヤリハットに相当する書類において、共有しています。